

※ 本リリースは国土交通記者会・交通運輸記者会に配布しております。

2025年6月18日

訪日外客数（2025年5月推計値）

◇5月：3,693,300人、5月過去最高を大幅に更新

- 5月の訪日外客数は3,693,300人で、前年同月比では21.5%増となった。5月として過去最高であった2024年の3,040,294人を65万人以上上回り、同月過去最高を更新した。
- 5月は桜シーズンと夏休みシーズンの間に挟まれた時期であり、多くの市場で訪日需要が前月に比べ落ち着く時期であるものの、一部の市場で祝日やスクールホリデーに合わせた訪日需要の高まりがみられたこと等により、東アジアでは中国、東南アジアではフィリピン、欧米豪では米国を中心に訪日外客数が増加したことが今月の押し上げ要因となった。
- インドで単月過去最高を更新したほか、韓国をはじめ中国、台湾、米国など21市場で5月として過去最高を記録した。
- 2023年3月に策定された第4次観光立国推進基本計画では3つの柱「持続可能な観光」「消費額拡大」「地方誘客促進」が示されるとともに、旅行消費額・地方部宿泊数等に関する新たな政府目標が掲げられているところ、これらの実現に向けて、市場動向を綿密に分析しながら、戦略的な訪日旅行プロモーションに取り組んでいく。

* 月別推計値と2003年以降の訪日外客数は、下記リンク「訪日外客統計」参照のこと。

<https://www.jnto.go.jp/statistics/data/visitors-statistics/>

「月別推計値（Excel）」、「国籍/月別 訪日外客数（2003年～2025年）（PDF・Excel）」

* 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

* 5月過去最高の21市場は韓国、中国、台湾、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、フィリピン、ベトナム、豪州、米国、カナダ、メキシコ、英国、フランス、ドイツ、イタリア、スペイン、ロシア、北欧地域、中東地域。

【お問い合わせ先】
企画総室 調査・マーケティング統括グループ
TEL：03-5369-6020 E-MAIL：data@jnto.go.jp

2025年 訪日外客数・出国日本人数

2025 Visitor Arrivals & Japanese Overseas Travelers

日本政府観光局(JNTO)

Japan National Tourism Organization (JNTO)

(単位: 人 / Unit: Persons)

	訪日外客数 Visitor Arrivals			出国日本人数 Japanese Overseas Travelers		
	2024	2025	伸 率 Change %	2024	2025	伸 率 Change %
1 Jan.	2,688,478 (2,386,640)	3,781,629 (3,455,149)	40.7 (44.8)	838,581	912,298	8.8
2 Feb.	2,788,224 (2,548,085)	3,258,491 (2,965,065)	16.9 (16.4)	978,884	1,181,062	20.7
3 Mar.	3,081,781 (2,771,105)	3,497,755 (3,149,434)	13.5 (13.7)	1,219,789	1,423,449	16.7
4 Apr.	3,043,003 (2,763,384)	3,908,900 *	28.5 *	888,767	961,382	8.2
5 May	3,040,294 (2,758,219)	3,693,300 *	21.5 *	941,709	1,076,800 *	14.3 *
6 Jun.	3,140,642 (2,913,631)			930,229		
7 Jul.	3,292,602 (3,055,187)			1,048,823		
8 Aug.	2,933,381 (2,646,445)			1,437,126		
9 Sep.	2,872,487 (2,544,751)			1,212,545		
10 Oct.	3,312,193 (3,021,710)			1,148,502		
11 Nov.	3,187,175 (2,922,383)			1,175,117		
12 Dec.	3,489,888 (3,280,013)			1,187,210		
1～5 Jan.-May	14,641,780 (13,227,433)	18,140,100 *	23.9 *	4,867,730	5,555,000 *	14.1 *
1～12 Jan.-Dec.	36,870,148 (33,611,553)			13,007,282		

◆注1: 本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2: 訪日外客数のうち、*印の斜体部分は推計値、その他の値は暫定値である。

◆注3: 訪日外客数及び*印の出国日本人数は法務省資料を基にJNTOが算出し、それ以外の出国日本人数は法務省資料を転記した数値である。

◆注4: ()内は、総数のうちの観光客数である。

◆注5: 訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。なお、上記の訪日外客には乗員は含まれない。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. The figures for Visitor Arrivals are provisional, while * stands for the preliminary ones, compiled and estimated by JNTO.

◆Note 3. The figures for Japanese Overseas Travelers are provided by the Ministry of Justice.

◆Note 4. The figures in () represent the number of tourists among the total.

2025年5月 訪日外客数（JNTO推計値）（対2024年比）

Visitor Arrivals for May 2025 (Preliminary figures by JNTO)(Compared to 2024)

国・地域	Country/Area	総数 Total			総数 Total		
		2024年 5月	2025年 5月	伸率(%)	2024年 1月～5月	2025年 1月～5月	伸率(%)
総数	Grand Total	3,040,294	3,693,300	21.5	14,641,780	18,140,100	23.9
韓国	South Korea	738,872	825,800	11.8	3,738,834	4,053,600	8.4
中国	China	545,552	789,900	44.8	2,407,239	3,920,300	62.9
台湾	Taiwan	466,008	538,400	15.5	2,404,710	2,699,700	12.3
香港	Hong Kong	217,486	193,100	-11.2	1,025,503	1,104,300	7.7
タイ	Thailand	97,408	108,100	11.0	563,706	628,400	11.5
シンガポール	Singapore	62,676	63,300	1.0	241,102	276,600	14.7
マレーシア	Malaysia	39,562	51,700	30.7	219,755	295,900	34.6
インドネシア	Indonesia	41,274	52,300	26.7	220,770	284,600	28.9
フィリピン	Philippines	67,443	82,700	22.6	336,756	384,900	14.3
ベトナム	Vietnam	50,575	59,200	17.1	284,440	311,700	9.6
インド	India	29,068	43,000	47.9	102,009	142,400	39.6
豪州	Australia	66,476	78,900	18.7	400,174	507,800	26.9
米国	U.S.A.	246,972	311,900	26.3	1,046,521	1,356,200	29.6
カナダ	Canada	55,811	66,300	18.8	231,275	293,800	27.0
メキシコ	Mexico	11,514	15,100	31.1	53,261	71,600	34.4
英国	United Kingdom	39,120	52,100	33.2	189,663	237,500	25.2
フランス	France	38,159	46,000	20.5	161,175	182,600	13.3
ドイツ	Germany	32,196	42,300	31.4	141,042	178,900	26.8
イタリア	Italy	17,443	25,000	43.3	81,126	115,900	42.9
スペイン	Spain	13,417	20,800	55.0	53,028	80,100	51.1
ロシア	Russia	8,004	19,200	139.9	35,480	71,800	102.4
北欧地域	Nordic Countries	11,906	15,500	30.2	59,294	76,100	28.3
中東地域	Middle East	14,009	23,200	65.6	61,152	98,400	60.9
その他	Others	129,343	169,500	31.0	583,765	767,000	31.4

◆注1：本資料を引用される際は、出典名を「日本政府観光局(JNTO)」と明示してください。

◆注2：上記の2024年の数値は暫定値、2025年の数値は推計値である。

◆注3：訪日外客数とは、法務省集計による出入国管理統計に基づき、算出したものである。訪日外客は、外国人正規入国者から、日本を主たる居住国とする永住者等の外国人を除き、これに外国人一時上陸客等を加えた入国外国人旅行者のことである。駐在員やその家族、留学生等の入国者・再入国者は訪日外客に含まれる。
なお、上記の訪日外客には、乗員は含まれない。

◆注4：北欧地域はスウェーデン、デンマーク、ノルウェー、フィンランドを指す。

◆注5：中東地域はイスラエル、トルコ、GCC6か国（サウジアラビア、アラブ首長国連邦(UAE)、バーレーン、オマーン、カタール、クウェート）を指す。

◆Note 1. If reproduced, your credit line to JAPAN NATIONAL TOURISM ORGANIZATION is mandatory.

◆Note 2. Above figures for 2024 are provisional, while figures for 2025 are the preliminary ones estimated by JNTO.

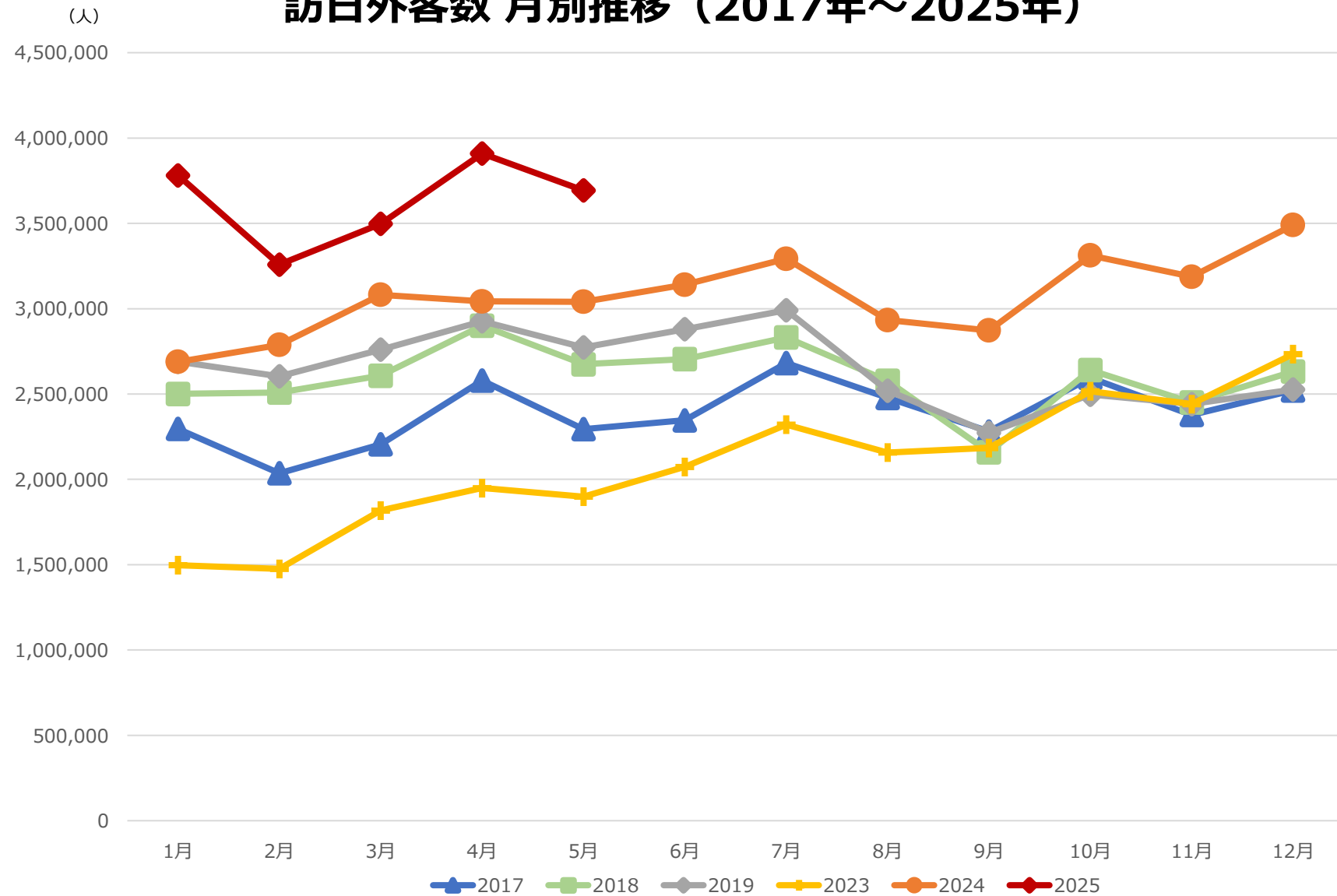
◆Note 3. Visitor arrivals exclude permanent residents whose primary place of residence is in Japan and include travelers entering Japan for transit.

Foreigners entering or re-entering Japan, such as expatriates and their families, and international students are included in visitor arrivals to Japan. Crew members are excluded.

◆Note 4. Nordic Countries refer to Sweden, Denmark, Norway, and Finland.

◆Note 5. Middle East refers to Israel, Turkey, and the Gulf Cooperation Council countries (Saudi Arabia, UAE, Bahrain, Oman, Qatar, Kuwait).

訪日外客数 月別推移（2017年～2025年）



※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により訪日外客数が大幅に減少していた2020年～2022年の数値は除く。
 ※2019年7月以降、日韓情勢悪化等により訪日旅行を控える動きが発生していたこと等もあり、訪日韓国人旅行者数が減少傾向にあったことに留意する。

地域別訪日旅行市場の概況

注) 訪日外客数は2025年5月の数値、これ以外の情報はJNTOで把握している最新の情報(2025年6月12日時点)としている。なお、増便とは既存の航空路線において前年同月と比較し航空便数が増えたこと、復便とは運休となっていた航空路線で2025年5月から運航が再開したこと、新規就航とは新たな航空路線が就航したことを指す。

全市場共通

COVID-19(新型コロナウイルス感染症)の拡大以降、航空・旅行会社を取り巻く人手不足や旅行費用の高騰等の課題が多く市場で見られている。また、欧州地域においてはウクライナ情勢に伴う飛行ルートの変更によるフライト時間増加も訪日旅行の懸念材料となっている。なお、多くの市場において円安傾向が継続している。

1. アジア

① 東アジア

- 韓国は、825,800人(前年同月比 11.8%増)であった。中国等への旅行需要が高まりつつあるものの、清州～茨城間、清州～帯広間の新規就航や仁川～成田間の増便、仁川～富山間のチャーター便の運航等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- 中国は、789,900人(前年同月比 44.8%増)であった。上海～関西間、天津～羽田間の増便等による航空便の座席数増加やクルーズ船の寄港、労働節や端午節等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- 台湾は、538,400人(前年同月比 15.5%増)であった。日本のゴールデンウィーク期間の訪日を避ける動きがあったものの、台北桃園～米子間の新規就航、高雄～関西間の増便や台北桃園～南紀白浜間のチャーター便の運航、クルーズ船の寄港等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- 香港は、193,100人(前年同月比 11.2%減)であった。5月上旬の労働節等もあったものの、日本で地震が発生するという情報がSNS等で拡散されている。訪日外客数は前年同月を下回った。

② 東南アジア

- タイは、108,100 人（前年同月比 11.0%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等があるものの、継続する日本人気やバンコク～成田間の増便による座席供給量の回復、祝日等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- シンガポールは、63,300 人（前年同月比 1.0%増）であった。昨年は5月下旬からであったスクールホリデーが今年は5月末からとなった影響等があるものの、継続する日本人気や、シンガポール～那覇間の増便等による直行便数の増加、祝日の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- マレーシアは、51,700 人（前年同月比 30.7%増）であった。査証免除措置による訪中旅行への人気の高まり等があるものの、祝日やスクールホリデー、マレーシアリングイト高等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- インドネシアは、52,300 人（前年同月比 26.7%増）であった。継続する日本人気や、ジャカルタ～羽田間の増便などによる直行便数の増加、祝日の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- フィリピンは、82,700 人（前年同月比 22.6%増）であった。好調な経済状況を背景とする海外旅行需要の増加やマニラ～新千歳間の復便、航空機材の大型化による座席供給数の増加や祝日の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- ベトナムは、59,200 人（前年同月比 17.1%増）※であった。割安かつ査証免除・取得が容易な東南アジアや中国等への旅行需要の高まり等の影響があるものの、ホーチミン～中部間、ホーチミン～福岡間の増便、ハノイ～仙台間でのチャーター便などによる直行便数の増加、連休等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

※留学、技能実習等を含むその他客の多い市場であることに留意する。

- インドは、43,000 人（前年同月比 47.9%増）であった。海外旅行需要の高まり、予約の早期化による旅行手配の効率化の影響や、スクールホリデー、ベンガルール～成田間の増便や経由便の利便性の向上等もあり、訪日外客数は単月として過去最高を記録した。

2. 豪州、北米

- 豪州は、78,900 人（前年同月比 18.7%増）であった。スクールホリデーやイースター休暇後の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、豪州からのアウトバウンド需要自体が増加していることや継続する訪日旅行人気の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

- **米国**は、311,900 人（前年同月比 26.3%増）であった。イースター休暇とスクールホリデー（夏期休暇）の間の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、継続する訪日旅行人気や混雑するシーズンを避け5月に訪日する需要が一定数あったことにより、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- **カナダ**は、66,300 人（前年同月比 18.8%増）であった。スクールホリデーやイースター休暇後の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、継続する訪日旅行人気や前年同月と比較して直行便数が増加したことの影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- **メキシコ**は、15,100 人（前年同月比 31.1%増）であった。イースター休暇とスクールホリデー（夏期休暇）の間の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、継続する訪日旅行人気や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

3. 欧州

- **英国**は、52,100 人（前年同月比 33.2%増）であった。スクールホリデーやイースター休暇後の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、混雑するイースター休暇や桜シーズンを避け5月に訪日する需要が一定数あったほか、継続する訪日旅行人気や中国および香港経由等の経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- **フランス**は、46,000 人（前年同月比 20.5%増）であった。スクールホリデーやイースター休暇後の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、祝日が複数あったことに加え、継続する訪日旅行人気や若年層の訪日需要の高まりもあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- **ドイツ**は、42,300 人（前年同月比 31.4%増）であった。スクールホリデーやイースター休暇後の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、混雑するイースター休暇や桜シーズンを避け5月に訪日する需要が一定数あったほか、継続する訪日旅行人気および経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- **イタリア**は、25,000 人（前年同月比 43.3%増）であった。イースター休暇とスクールホリデー（夏期休暇）の間の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、継続する訪日旅行人気や5月上旬の祝日に加え、2024年12月の羽田～ミラノ間の新規就航や経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。
- **スペイン**は、20,800 人（前年同月比 55.0%増）であった。イースター休暇とスクールホリデー（夏期休暇）の間の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、継続する訪日旅行人気に加え、2024年10月に再開した直行便によるアクセス性の向上と航空座席数の増加および経由便の多様化の影響等もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

- **ロシア**は、19,200 人（前年同月比 139.9%増）であった。ウクライナ侵攻による各国からの制裁等による影響が続いているものの、5月上旬の連休の影響やクルーズ需要の高まりのほか、中国経由をはじめとした経路便の多様化もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

4. 北欧地域

- **北欧地域**は、15,500 人（前年同月比 30.2%増）であった。イースター休暇とスクールホリデー（夏期休暇）の間の訪日需要が落ち着く時期ではあるものの、2025 年1月末からのストックホルム～羽田間の新規就航により訪日旅行に関する報道が増えていることもあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。

5. 中東地域

- **中東地域**は、23,200 人（前年同月比 65.6%増）であった。継続する訪日旅行人気に加え、前年同月と比較して直行便数が増加したこと等の影響もあり、訪日外客数は5月として過去最高を記録した。